

平成25年度 事業計画

1 人材育成事業

会員の要望に応える研修を開催するため、研修ニーズ調査（アンケート調査・実施機関へのヒアリング）及び開催実績に基づき、テーマやカリキュラムを決定し、研修を企画・実施する。

（1）KIPスクール

- ・入社前の内定者も含め、新入社員～中堅社員のスキルアップを目的とした人材育成研修。
- ・KIPとヒューマンメディア財団が協力してKIPスクールを開催。
- ・平成24年度の実績とアンケート調査の結果に基づき、平成25年度は以下の3コースを実施する。

- ①C#. NET入門4日間 （6月）
- ②C#. NET基礎4日間 （6月）
- ③Java入門5日間 （3月）

（2）IT大学校

- ・KIP会員を主対象としたヒューマンメディア財団の「IT大学校」を活用。
- ・ビジネスに直結する実務能力の向上を目的に、北九州地域の情報サービス企業の中核を担う中堅社員を対象として、ヒューマンスキル、ビジネススキルの向上やITスペシャリスト養成を図る研修・講座を開催する。
- ・基本的に北九州版ITスキル標準（KTSS）の体系に沿った形で計画を行うが、それにこだわることなく、新しい講座も取り入れていく。
- ・平成25年度は試験的にコミュニケーション講座についてのフォローアップ講座を実施する。

①ビジネス文書講座 （7月）

ビジネス文書に関する基礎知識を学び、用件を正確・明瞭・簡潔に伝える文書作成のノウハウを習得するとともに、e-mail、報告書等について具体的な文例を用いて、作成時のポイントを習得する。

②コミュニケーション講座 （7月）

他人とのコミュニケーションの取り方を見つめ直し、コミュニケーションに関する基本的な知識・スキルを習得し、対人コミュニケーション能力のアップを図る。

③プロジェクトチームマネジメント講座 （7月）

チームの生産性・充実感の向上に必要なリーダーとしてのインタビュー、チーム育成、チーム内コミュニケーション等のスキルを習得する。

④コーチング講座 （8月）

部下のやる気と能力を引き出し、自発的に行動させ、目標達成へと導くコーチングスキルを習得する。

⑤マーケティング講座

(8月)

マーケティングに必要な視点や分析手法などマーケティングの基礎知識とその知識を職場で活かす方法を習得するとともに、新たな潮流である「ウェブ・マーケティング」を学習する。

⑥ネットワーク管理技術講座

(10月)

階層モデル、主要通信プロトコル等、ネットワークの設計、導入、運用管理に必要な基本的な技術を習得する。

⑦タイムマネジメント講座

(10月)

限られた時間を有効に活用し、最大限の効果をあげるための時間管理手法を習得する。

⑧コミュニケーション講座（フォローアップ講座）

(10月)

「コミュニケーション講座（7月開催）」のフォローアップ講座として実施する。受講後の本人の変化、現場で遭遇したさまざまなケース等、経験談を発表し、それに対し意見交換を行うとともに、更なるコミュニケーション力のアップを図る。

(3) 経営者層のためのマネジメントセミナー

- ・平成23年度からヒューマンメディア財団が北九州市立大学大学院マネジメント研究科と連携して実施するセミナーを活用する。
- ・経営能力に不可欠な分析・戦略の基礎知識修得を目的に、北九州地域の情報サービス企業の経営者層を対象として、研修・講座を開催する。(10~12月)

2 交流事業

平成25年度は、相互の交流情報交換の場として、KIPサロンを総会時・忘年会の年2回開催する。

また、会員相互の交流促進・情報交換を目的として、若手社員層、中堅社員層、経営者・管理者層を対象とした各種交流会を開催するとともに、新しい試みとしてプレゼン大会（仮称）を開催する。

(1) KIPサロン（講演会・交流会）

- ・総会時（6月）と忘年会時（11月）に実施する。（年2回）
- ・会員のほか非会員企業にも案内し、業界内での交流を目的として、新規会員の入会を狙う。

(2) 経営者交流会

○ゴルフ会

- ・ゴルフ会を年1回開催する。（終了後交流会を開催）
- ゴルフ会は会費制とする。

○勉強会

- ・経営課題を題材にした勉強会を年1回開催する。（終了後交流会を開催）
- ・平成24年度と同様に、講師を招いての勉強会とする。
（講演＋質疑応答＋フリーディスカッション）
- ・経営者層のみならず、担当部課長等も参加できるテーマとする。

(3) 中堅社員交流会

- ・日常、他社の社員と接触する機会の少ない中堅社員を対象として、交流会を開催する。
- ・施設見学会・セミナー等を行う昼の部と交流を促進する夜の部の二部構成とするが、具体的な行事内容はワーキンググループで検討を行う。
- また、参加者の交流を促進する仕掛けについてもワーキンググループで検討を行う。

(4) 若手社員交流会

- ・若手社員の交流と情報交換を図るため、交流会を開催する。
- ・具体的な行事内容はワーキンググループで検討を行う。
- また、参加者の交流を促進する仕掛けについてもワーキンググループで検討を行う。

(5) 海外視察／海外研修

- ・著しい発展を遂げている中国、韓国、東南アジアなどの海外に目を向けて海外視察を行う。
- ・平成24年度同様、他団体が企画する海外視察への参加を検討する。

(6) プレゼン大会

- ・従来、KIP サロンの中で行っていた会員の事業紹介・サービス紹介を独立させて、プレゼン大会を行う。
- ・具体的な企画はワーキンググループで検討を行う。

3 広報事業

(1) ホームページ

- ・KIP年間行事予定、IT大学校、KIPスクールの募集案内、KIPサロン等の交流事業についての案内を掲載する。
- ・その他、求人情報、行事開催報告を掲載する。

(2) パンフレット

- ・パンフレットを更新する。

(3) 情報提供

- ・KIP情報サービス産業調査でも評価の高かった情報提供については、引き続き、メーリングリストを活用し会員にとって有用な情報を積極的にお知らせするとともに、さらなる情報収集に努める。

(4) 実務層交流を促す仕組み

- ・フェイスブックにKIPのグループを作成し、実務層の交流、情報交換を促す場として活用する。
- ・具体的な企画・運用はワーキンググループで検討を行う。

○ 総 会

日 程	平成25年 6月14日（金） 於：ヒューマンメディア財団
議 案	<ul style="list-style-type: none">・ 役員を選任について・ 平成24年度事業報告及び収支決算について・ 平成25年度事業計画及び収支予算について

○ 理事会・WG会議

(1) 理 事 会

- ・ 年3回程度開催する。

(2) ワーキンググループ（WG）会議

- ・ 必要に応じて、年数回開催する。
- ・ 各事業の企画・立案を行うとともに運営や参加促進を行う。